

公益財団法人日本文学振興会

令和元年度事業報告書

1. 平成31年4月23日（火）午後5時より、パレスホテルにて第26回松本清張賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

坂上泉「明治大阪へぼ侍」（単行本刊行時に『へぼ侍』と改題）

その贈呈式および懇親パーティーは6月29日（金）午後6時より東京會館にて第51回大宅壮一ノンフィクション賞贈呈式と合同で開催、受賞者に正賞時計、副賞500万円を贈呈した。

2. 令和元年5月15日（水）午後4時より、文藝春秋ビルにて第51回大宅壮一ノンフィクション賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

河合香織『選べなかった命 出生前診断の誤診で生まれた子』（文藝春秋）

安田峰俊『八九六四 「天安門事件」は再び起きるか』（KADOKAWA）

その贈呈式および懇親パーティーは6月28日（金）午後6時より東京會館にて第26回松本清張賞贈呈式と合同で開催、受賞者に正賞100万円と副賞の日本航空提供による国際線往復航空券を贈呈した。

3. 令和元年7月17日（水）午後5時より、築地「新喜楽」にて第161回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 今村夏子「むらさきのスカートの女」（小説トリッパー春号）

直木賞 大島真寿美『渦 妹背山婦女庭訓 魂結び』（文藝春秋）

その贈呈式および懇親パーティーは8月23日（金）午後6時より帝国ホテルにて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。

4. 令和元年10月2日（水）午後6時より、築地「新喜楽」にて第66回菊池寛賞選考顧問会を開き、下記の5件の授賞を決定した。

①浅田次郎

1991年のデビュー以来、『蒼穹の昴』などの中国歴史小説、時代小説、戦争小説、直木賞受賞作『鉄道員』の珠玉の短編まで、幅広いジャンルにわたって、平成の文学界を牽引し続けてきた

②吉田都

22年間にわたり英国の2つのロイヤルバレエ団において最高位のプリンシパルを務めるなど、世界的に活躍。確かなテクニックと高い音楽性により、今年8月の引退まで多くのファンを魅了した

③NHK「おかあさんといっしょ」

幼児向テレビ番組の先駆けとして1959年に放送を開始。さまざまに創意工夫がなされた親しみやすい歌・ぬいぐるみ人形劇・体操などで、長年にわたり子どもと親の情操を育み続ける

④戸高一成とPHP研究所

旧日本海軍の中堅幹部が戦後おこなった座談会の400時間にもおよぶ録音テープを収集、10年以上の歳月をかけ文字起こしと校訂に取り組み、『[証言録]海軍反省会』全11巻に結実させた

⑤ラグビー日本代表チーム

今年日本で開かれたラグビーワールドカップにおいて、史上初の決勝トーナメント進出を果たす。様々な国から来た選手たちが「ONE TEAM」となり強豪国を破る姿は、日本中に勇気を与えた

その贈呈式および懇親パーティーは12月6日（金）午後5時より帝国ホテルにて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。

5. 令和2年1月15日（水）午後4時より、築地「新喜楽」にて第162回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、授賞者および授賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 古川真人「背高泡立草」（すばる10月号）

直木賞 川越宗一『熱源』（文藝春秋）

その贈呈式および懇親パーティーは令和2年2月20日（木）午後6時より帝国ホテルにて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。